

令和3年度第1四半期

退職等年金給付調整積立金 管理及び運用実績の状況
(地方公務員共済組合連合会)



地方公務員共済組合連合会
Pension Fund Association for Local Government Officials

令和3年度第1四半期 運用実績 (概要)

運用利回り
(第1四半期) + 0.09% ※実現収益率 (簿価)

運用収入額
(第1四半期) + 0.65億円 ※実現収益額 (簿価)

運用資産残高
(第1四半期末) 757億円 ※簿価

年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。
退職等年金給付調整積立金は、国内債券の満期持ち切りでの運用を前提とするため、簿価評価としています。

(注1) 実現収益率及び実現収益額は、運用手数料等控除後のものです。

(注2) 実現収益額は、売買損益及び利息収入等です。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

令和3年度第1四半期 市場環境①

【各市場の動き（令和3年4月～6月）】

- 国内債券：10年国債利回りは低下しました。米国長期金利の上昇や、日本銀行によるオペ減額懸念等から上昇する局面が見られたものの、米国の金融緩和長期化観測の高まりにより米国長期金利が低下したことに連れて低下しました。
- 国内株式：国内株式は小幅下落しました。欧米株式の上昇やワクチン接種進展期待により、底堅く推移する局面も見られたものの、新型コロナウイルス感染者数増加による経済正常化の後ずれが懸念されたことなどから小幅下落しました。
- 外国債券：米国10年国債利回りは低下しました。FRBによる利上げ早期化懸念を背景に上昇する局面も見られたものの、インフレ高進が一時的との見方を受けた金融緩和の長期化観測等を背景に低下しました。
- 外国株式：外国株式は上昇しました。FRBによる利上げ早期化懸念を背景に下落する局面も見られたものの、金融緩和の長期化観測、ワクチン接種進展に伴う経済正常化期待、米国バイデン政権による追加経済対策期待等を背景に上昇しました。
- 外国為替：ドル円は、米国長期金利の低下を背景にドル安が進行する局面が見られたものの、FRBによる利上げ早期化懸念等を背景に円安・ドル高となりました。
- ユーロ円は、ユーロ圏のワクチン接種進展、リスク選好姿勢の高まりなどを背景に円安・ユーロ高となりました。

【ベンチマーク収益率】

	令和3年 4月～6月
国内債券 NOMURA-BPI総合	0.31%
国内株式 TOPIX（配当込み）	-0.33%
外国債券 FTSE世界国債インデックス （除く日本、ヘッジなし・円ベース）	1.65%
外国株式 MSCI ACWI （除く日本、円ベース、配当込み）	8.55%

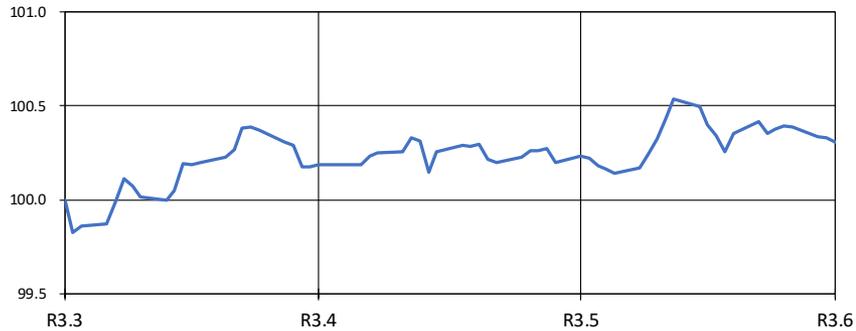
【参考指標】

			3月末	4月末	5月末	6月末
国内債券	（10年国債利回り）	（%）	0.10	0.10	0.09	0.06
国内株式	（TOPIX配当なし）	（ポイント）	1,954.00	1,898.24	1,922.98	1,943.57
	（日経平均株価）	（円）	29,178.80	28,812.63	28,860.08	28,791.53
外国債券	（米国10年国債利回り）	（%）	1.74	1.63	1.59	1.47
	（ドイツ10年国債利回り）	（%）	▲ 0.29	▲ 0.20	▲ 0.19	▲ 0.21
外国株式	（NYダウ）	（ドル）	32,981.55	33,874.85	34,529.45	34,502.51
	（ドイツDAX）	（ポイント）	15,008.34	15,135.91	15,421.13	15,531.04
外国為替	（ドル/円）	（円）	110.50	109.31	109.40	110.99
	（ユーロ/円）	（円）	129.87	131.58	133.75	131.62

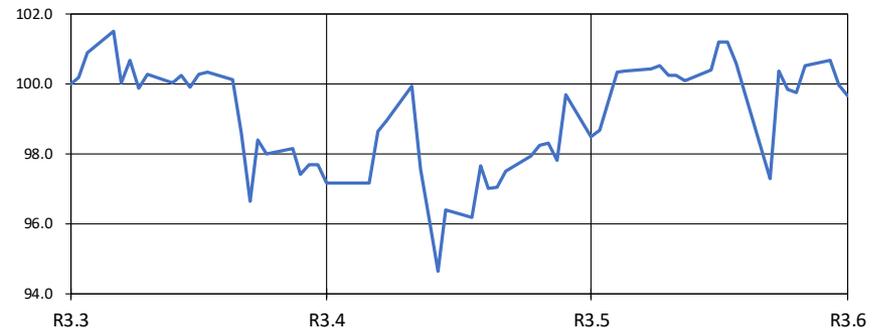
令和3年度第1四半期 市場環境②

ベンチマークインデックスの推移

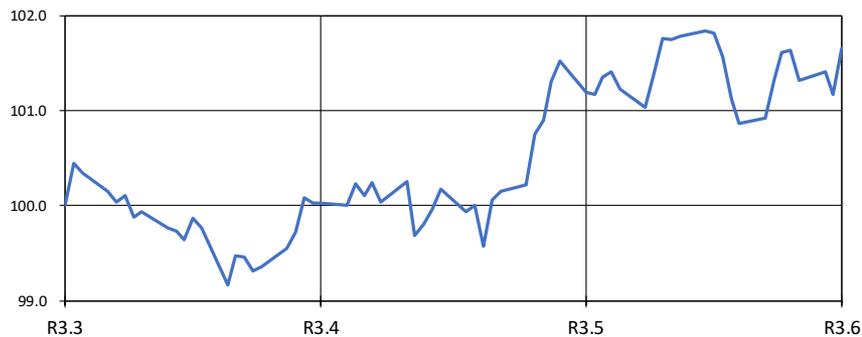
【国内債券】 (令和3年3月末=100)



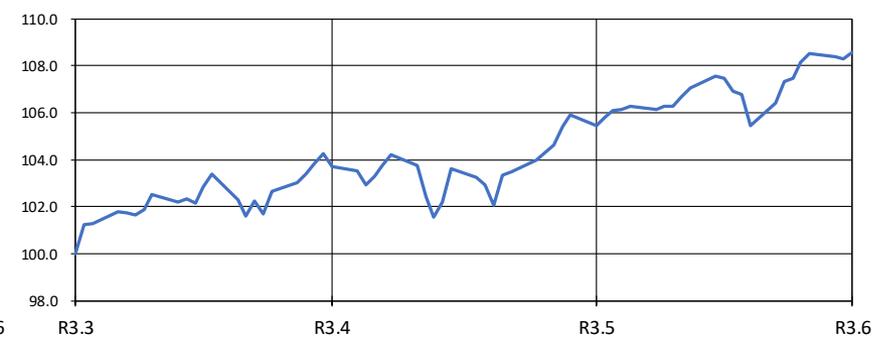
【国内株式】 (令和3年3月末=100)



【外国債券】 (令和3年3月末=100)



【外国株式】 (令和3年3月末=100)

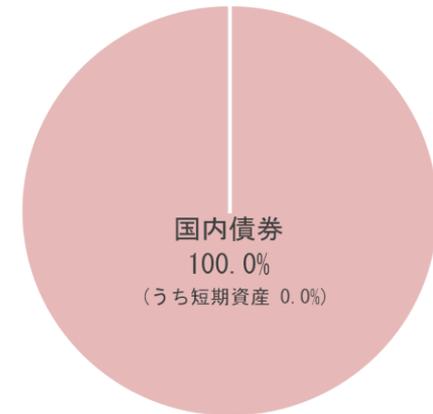


令和3年度 資産構成割合

(単位：%)

第1四半期末 運用資産別の構成割合

	令和2年度末	令和3年度				基本 ポートフォリオ
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
国内債券	100.0	100.0	—	—	—	100.0
うち短期資産	(0.3)	(0.0)	—	—	—	
合計	100.0	100.0	—	—	—	



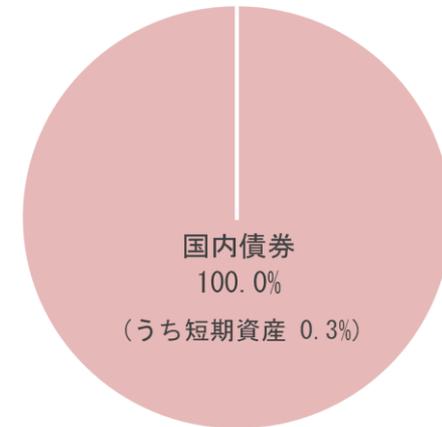
(注) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和2年度 資産構成割合

(単位：%)

	令和元年度末	令和2年度				基本 ポートフォリオ
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
国内債券	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
うち短期資産	(0.2)	(0.2)	(0.0)	(1.2)	(0.3)	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

令和2年度末 運用資産別の構成割合



令和3年度 運用利回り

- 令和3年度第1四半期の実現収益率(簿価)は、0.09%となりました。
 ○退職等年金給付調整積立金で保有する国内債券は、満期持ち切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率(簿価)	0.09	—	—	—	0.09
国内債券	0.09	—	—	—	0.09
うち短期資産	(0.00)	—	—	—	(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.68	—	—	—	0.68

(注1) 各四半期及び年度計の運用利回りは、期間率であり、運用手数料等控除後のものです。

(注2) 修正総合収益率は、実現収益率(簿価)に、仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和2年度 運用利回り

(単位：%)

	令和2年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率(簿価)	0.09	0.08	0.08	0.08	0.33
国内債券	0.09	0.08	0.08	0.08	0.33
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和2年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
収益率(時価)	▲0.30	0.30	0.15	▲0.51	▲0.39

令和3年度 運用収入額

- 令和3年度第1四半期の実現収益額(簿価)は、0.65億円となりました。
 ○退職等年金給付調整積立金で保有する国内債券は、満期持ち切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：億円)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額(簿価)	0.65	—	—	—	0.65
国内債券	0.65	—	—	—	0.65
うち短期資産	(0.00)	—	—	—	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額(時価)	5.17	—	—	—	5.17

(注1) 実現収益額(簿価)は、売買損益及び利息収入等であり、運用手数料等控除後のものです。

(注2) 総合収益額(時価)は、実現収益額(簿価)に、仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものであり、運用手数料等控除後のものです。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和2年度 運用収入額

(単位：億円)

	令和2年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額(簿価)	0.53	0.53	0.56	0.60	2.22
国内債券	0.53	0.53	0.56	0.60	2.22
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和2年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額(時価)	▲1.89	1.93	1.06	▲3.75	▲2.66

令和3年度 資産額

(単位：億円)

	令和2年度末			令和3年度											
				第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	757	760	3	757	765	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち短期資産	(2)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	757	760	3	757	765	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 時価及び評価損益は、仮に時価評価を行った場合の参考です。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和2年度 資産額

(単位：億円)

	令和元年度末			令和2年度											
				第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益									
国内債券	617	625	8	617	623	6	639	646	7	690	698	8	757	760	3
うち短期資産	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(8)	(8)	(0)	(2)	(2)	(0)
合計	617	625	8	617	623	6	639	646	7	690	698	8	757	760	3

用語解説（50音順）

- 実現収益率
運用成果を測定する尺度の1つです。
売買損益及び利息・配当金収入等の実現収益額を元本（簿価）平均残高で除した元本（簿価）ベースの比率です。
- 修正総合収益率
時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。
実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加え、時価に基づく収益を把握し、それを元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。
算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
(計算式)
修正総合収益率 = { 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減（当期末未収収益 - 前期末未収収益）
+ 評価損益増減（当期末評価損益 - 前期末評価損益） } / （元本（簿価）平均残高
+ 前期末未収収益 + 前期末評価損益）
- 総合収益額
実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
(計算式) 総合収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減（当期末未収収益 - 前期末未収収益）
+ 評価損益増減（当期末評価損益 - 前期末評価損益）
- 退職等年金給付調整積立金
地共連が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化の際に新たに創設された民間の企業年金に相当する年金積立金で、退職給付の一部となっています。
各共済組合の退職等年金給付のための資金が不足した場合に、必要な額を交付することとなっています。